

第8回 株式会社エフエム真岡 放送番組審議会議事録

1 開催概要

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書類による審議を実施。令和4年7月4日(月)までに審議資料を配布、令和4年7月22日(金)までに番組に対する意見等について返信を求めた結果、審議委員全5名から電子メールまたはFAXにて回答があった。

■出席委員(敬称略)

増山 明 (真岡商工会議所 専務理事)
一ノ瀬 幸人 (真岡市総合政策部秘書広報課 課長補佐兼係長)
篠崎 勝美 (株式会社シノザキ楽器 代表取締役)
宇賀神 久子 (株式会社アキヤマ観光 チーフカスタマーサービス)
上澤 宏行 (真岡青年会議所 前理事長)

2 議題

放送番組の審議

3 審議内容

- ① 審議番組『イブニング！もおか ～もおか観光コンシェルジュ (毎月/第4週)』
放送時間：令和4年4月28日(金) 17:00～17:45
パーソナリティ：佐野 久恵 (さの ひさえ)

(委員) 好感が持てたポイントとして、今回は、話が得意な観光コンシェルジュの方が出演ということで、全体的なテンポ、滑舌ともに聞き取りやすかったです。佐野さんの立ち位置ちは「自分はその真岡のことは詳しくないです」というもので、ゲストの知識と魅力を上手に引き出していると思いました。毎度のことですが、パーソナリティの方のトーク力は素晴らしいと思います。

改善すべきポイントとして、曲のノイズは、音源そのものが古い、あるいはCDの劣化によるものでしょうか？これまでFMもおおかで曲の音飛び等は耳にしたことがないので、別の原因かもしれませんが、もし、そのようなCDを使用する場合には、事情を説明すれば良いのではないかと思います。よほど劣化したCDは、使用していないと思いますが、中には古くても貴重なCDもあると思うので、あくまで提案です。

その他として、今回、聞き取れない場面はありませんでしたが、トーク番組におけるBGMについて、個人的にはもう少し下げてもよいかと思うケースがあります。ゲストの音量や声質によって調整している(業界的な基準がある?)ものと思われますが、家や車のラジオで聞くと、音源よりは音質が劣る、あるいは雑音が入る場合もありますので、ゲストによってはBGMを消すくらいの対応があってもよいと感じています。

(事務局) ご指摘のとおり「もおか観光コンシェルジュ」の方は、普段、施設等で、多くの人を前にお話ししていることもあり、トークが上手です。また、パーソナリティも、聞き役・進行役として、かなりこなれてきましたので、今後も出演者とパーソナリティの個性を生かした、番組構成を考えていきたいと思います。また、CDの音源はご指摘のとおり、劣化したものは処分しております。今回配布した音源が、CDに焼き付けたときの不具合かと思っておりますので、今後は配布する前に事前

に音源がきちんと「音飛びしていないか」確認します、申し訳ありませんでした。また、BGMの音量につきましても、かなり聴く状況（カーラジオ・スマホアプリ・据置型の防災ラジオ等）によっても異なりますが、あくまでも、話し手の声が聞きやすいというのが前提ですので、注意、意識したいと思います。

（委員） 好感が持てたポイントとして、地域の魅力を発信する番組は、本来の発信意味を持っている素敵な番組だと思います。もおか観光コンシェルジュの方がいる事の認知にも、つながっている二次効果もありますし、歴史・文化・伝承芸能を元に、キューロク館の案内・昔話も分かり易かったです。SL車輪のモニュメントは地元でも知らないという話は私も同感でした。私も、キューロク館でイベントを主催した経験があっても実際、なかには入らないので知りませんでした。今度、展示物やモニュメントも見てみたいと思います。パーソナリティの方の話すテンポ、イントネーションの聞き心地は、とても素晴らしく、BGMも邪魔にならなくて、ずっと聞いていられると感じました。最後の「もおか大好き〜！」の掛け声もサイコーでした。

改善すべきポイントは、特にないと思いますが、パーソナリティの振り方で幅が広がると思います。コロナで閉鎖しているキューロク館情報はあったが、閉鎖していない時は、どんなイベントをやっているのか、若い人をターゲットに「車輪モニュメントで映える写真を撮ってみては」など、ひとつの振り方で沢山の可能性が生まれると思います。なかなか難しいと思いますが、今できることを出来るだけやれば、パーソナリティさんの色も出てくると思いますし、このタイプの番組には合っているのだと思います。今回のような番組では、聞き心地のいいパーソナリティだと私は思います。引き続き楽しい番組づくりを宜しくお願い致します。

その他としては、パーソナリティの入れ替わりもあり、大変なこともあると思いますが、喜んで聞いているリスナーも沢山いると思いますので、頑張っていただけだと思います。

（事務局） ご指摘のとおり「コミュニティFM」らしい、地域密着の番組になっています。出演者の方の「地域への愛着」や「歴史・文化」が整理、深掘りされていて、そのような方に出演していただくことで、真岡らしさを追求していきたいと考えています。また、パーソナリティにつきましても、少しずつ、引き出しを増やしていけるよう改善、成長していければと思っています。

（委員） 単発のゲストではなく、月1回の企画である旨も言った方が良いかと思います。「毎月第4木曜日のこの時間は『もおか観光コンシェルジュ』をお送りしています。今月のゲストは・・・」という流れで。また、音声だけでは伝わらないゲストの服装（Tシャツ）や小物について、言葉で丁寧に伝えているのは良いと思います。付け加えて「放送後にエフエム真岡の公式Twitterに写真を投稿しますので、是非そちらもご覧ください」などの一言アナウンスがあると、もっと良いかもしれません。それと、真岡駅（駅舎）やキューロク館の施設の話に加えて、適宜、真岡鉄道の歴史や汽車自体の説明などもあり、取り上げている話題の範囲が広いので、聞き流しをしていると、いま何の話をしているのか分からなくなるので、山を挟んで大きく2~3つくらいの大まかなトピックを設定し、極力話が脱線しない方が良いかと思います。最後に、「交番のある方」、「東口の」などのパーソナリティによる言い換えは、単に復唱するだけより分かり易いです。

(事務局) 番組冒頭の掴みの部分をご指摘のとおりだと感じました、その旨、パーソナリティとも共有したいと思います。また、公式Twitterとの連動についても、もっと、番組内で上手に、さりげなくリスナーにPRできるよう対応したいと思います。番組の構成に関しては、大まかな流れは事前に打ち合わせしておりますが、ご指摘のとおり、番組内での流れを意識して、上手に収まるよう工夫していきたいと思います。

(委員) とても興味深い内容でした。今の真岡鉄道になるまでの、「赤い国鉄真岡線」本当に懐かしい話しでした。高校生の時に週一で、久下田の先生の家泊まって、真岡線に乗っていた頃を思い出しました。SLの話など、楽しい話でした。もおか観光コンシェルジュの齋藤さんのお話よかったです。地元の話は、伝えていきたいですね。コンシェルジュさんが、もっと活躍できる日々が早く来ますように！佐野久恵さんの、引き出しが多く、話をうまく聞き出し、あいづちも絶妙。声も落ちついていて、心地よいです。選曲もナイスでしたね。

(事務局) 毎月第4週には「もおか観光コンシェルジュ」の方に出演頂いておりますので今後も真岡の観光・文化・歴史を継続的に発信していければと思います

(委員) コンシェルジュならではの真岡鉄道やSLに関する情報に、興味をもって聞くことができました。また、SL等を紹介しながら、ゲストとパーソナリティの楽しい会話で聞きやすかった。ただし、ゲストが長く話している場面があったので、パーソナリティによる相槌等のフォローが入ってもよかったかもしれません。

(事務局) ご指摘の点は、パーソナリティと共有し、至急改善したいと思います。

② 放送番組審議会の次回開催について

(事務局) 次回の審議会は、令和4年10月11日(火)、14:00～
場所は、エフエム真岡会議室か市役所の会議室をお借りして開催予定。

(委員) 審議委員全員に書面にて連絡済。

6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

① 自社ホームページに掲載 (<https://www.fm-moka874.co.jp/>)